

アーツ・アンド・クラフツとデザイン

ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで

19 世紀後半、産業革命による大量生産が進んだイギリスでは、機械製品があふれる一方で、職人の手仕事に宿る美と創造性の価値を見直すアーツ・アンド・クラフツ運動がおこりました。その中心となったのが、デザイナー、詩人、思想家として活躍したウィリアム・モリス（1834-1896）です。モリスらは、生活を彩る品々に美を求め、働くことの喜びと豊かな生活が結びついた社会を理想としました。その理念は世界各地へ広がり、アメリカでは建築家フランク・ロイド・ライト（1867–1959）らが参加して新たな展開を見せます。こうしてアーツ・アンド・クラフツ運動は 20 世紀のモダン・デザインの礎となり、今日にも大きな影響を与え続けています。

本展では、テキスタイルや壁紙、家具、工芸品、装飾品、書籍など約 170 点をご紹介し、時代を超えてなお人々を魅了するデザインと、暮らしを豊かにする美の思想をたどります。

【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：新田量子
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp

◆ 展示構成と見どころ ◆

第 1 章：モリス・マーシャル・フォークナー商会とモリス商会

《いちご泥棒》をはじめ、日本でも人気の高いモリスの代表的なデザインを中心に、壁紙、家具、書籍など、アーツ・アンド・クラフツ運動の原点ともいえる作品を展示します。また、モリス商会でモリスの助手を務めたジョン・ヘンリー・ダール、モリスの次女であるメイ・モリスによる作品もご紹介します。



ウィリアム・モリス
《いちご泥棒》
1883 年
Photo © Brain Trust Inc.



ウィリアム・モリス
《格子垣》
1864 年
Photo © Brain Trust Inc.



ウィリアム・モリス
《るりはこべ》
1876 年
Photo © Brain Trust Inc.



メイ・モリス
《すいかずら》
1883 年
Photo © Brain Trust Inc.



ウィリアム・モリス
《ユートピア便り》
1892 年
Photo © Brain Trust Inc.

第 2 章：アーツ・アンド・クラフツ展覧会協会

1887 年、アーツ・アンド・クラフツ展覧会協会が開設されます。本章では、同協会で重要な役割を果たした 5 人の作家による作品を展示し、のちのアーツ・アンド・クラフツ運動に大きな影響を与えた同協会の活動をたどります。



C・F・A・ヴォイジー
《小鳥》
1918 年頃
Photo © Brain Trust Inc.



ウィリアム・アーサー・
スミス・ベンソン
《卓上ランプ》
Photo © Brain Trust Inc.

【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：新田量子
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp

第 3 章：英国におけるアーツ・アンド・クラフツの展開

モリスの思想は同時代の芸術家たちにも大きな影響を与えました。本章では、テキスタイル、ファッション、家具、金工、グラスなどさまざまな製品の制作と販売を行ったリバティ商会をはじめ、アーツ・アンド・クラフツ運動のさらなる広がりを紹介します。



アーチボールド・ノックス
《ピューターとエナメルの
3 点組ティーセット》
1900 年頃
Photo © Brain Trust Inc.



《カットグラスの扇型花器》
Photo © Brain Trust Inc.



ジェームズ・クロマー・ワット
《ホワイトメタルの
エナメル・ペンダント》
1920 年頃
Photo © Brain Trust Inc.

第 4 章：アメリカでのアーツ・アンド・クラフツ

モリスの没後、アーツ・アンド・クラフツ運動は世界各地に広まり、アメリカでも独自の展開を見せます。シカゴ・アーツ・アンド・クラフツ協会の開設メンバーのひとりである建築家フランク・ロイド・ライトは、機械生産がもつ創造性にも目を向け、同運動の新たな方向性を提示します。ライトによるステンドグラスや、ティファニー・スタジオの家具などを紹介します。



グスタフ・スティックリー
《スピンドル・サイド・チェア》
1907-10 年頃
Photo © Brain Trust Inc.



《三輪のリリィの金色ランプ》
1901-25 年
Photo © Brain Trust Inc.



《パインニードル模様のスタンプボックス》
Photo © Brain Trust Inc.

【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：新田量子
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp

◆ 展覧会概要 ◆

展覧会名　アーツ・アンド・クラフツとデザイン
　　ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで
会　　期　2026 年 11 月 14 日(土)～2027 年 1 月 17 日(日)
時　　間　9 時 30 分～17 時 00 分（展示室への入場は 16 時 30 分まで）
休 館 日　毎週月曜日（11 月 23 日、1 月 11 日は開館）、
　　年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）、11 月 24 日、1 月 12 日
会　　場　郡山市立美術館（〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地 130－2）
観 覧 料　一般　1,200(960)円　　高大生・65 歳以上　900(720)円
　　＊（）内は 20 名以上の団体料金
　　＊企画展観覧料で常設展もご覧いただけます
　　＊中学生以下の方、障がい者手帳をお持ちの方は無料
主　　催　郡山市立美術館
後　　援　ブリティッシュ・カウンシル
企画協力　株式会社ブレーントラスト

[交通案内]
バス：JR 郡山駅前 5 番のりば「美術館経由東部ニュータウン」行きまたは「斎藤経由三春」行き「郡山市美術館」下車すぐ
乗用車：東北道「郡山南 I.C.」磐越道「郡山東 I.C.」より 20 分　駐車場 130 台



最新情報は美術館ホームページでご確認ください。
郡山市立美術館
https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/

【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：新田量子
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp

◆ 関連イベント ◆

・美術講座
　暮らしを彩るデザインー「美しいもの」を生み出す思想と表現
　日時：11 月 28 日（土）午後 2 時から
　講師：当館学芸員
　会場：多目的スタジオ（入場無料）

・ギャラリートーク
　日時：12 月 5 日（土）、12 月 12 日（土）午後 2 時から
　講師：当館学芸員
　会場：企画展示室（企画展チケットが必要です）

・公開ワークショップ
　リピートパターンでデザインしよう！
　花や葉などのスタンプを自由に組み合わせて、繰り返し模様をデザインします。
　日時：12 月 19 日（土）
　　午前 10 時から 11 時、午後 2 時から 3 時
　　（この時間内であればいつでも参加できます）
　講師：当館学芸員
　会場：中央階段ホール（参加無料）



◆ 広報用画像 ◆

画像の使用をご希望の場合は、E-mail にてお問い合わせください。
E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp

【広報用画像貸出の注意事項】
・使用目的は本展のご紹介のみに限ります。
・使用後、画像データは速やかに破棄してください。画像データの保存および第三者への提供は禁止します。
・トリミング、部分使用、文字乗せ、色調変更、二次使用は禁止します。
・掲載する際は、各画像のキャプションを必ず記載してください（下記参照）。
・掲載紙は、学芸課担当者宛に 1 部ご送付をお願いします。

【本展に関するお問い合わせ先】
郡山市立美術館　担当：新田量子
Tel.024-956-2200　Fax.024-956-2350　E-mail: art956k@orange.ocn.ne.jp